

一般質問

子育て支援について
より子育てしやすい環境の整備を！

議員議員 ①18歳までの子どもの医療費窓口無料化をする考えはないのか。②第2子の保育料が無料化となる所得制限の要件を撤廃し、第2子以降は完全無料化にする考えはないのか。③児童生徒の学校給食費の補助制度を実施する考えはないのか。

津田健康福祉部長

①一旦、自己負担額を支払うことで、医療を通じた子どもの健康について改めて気を配っていたり、重要な機会であり、地域の差もなく医療が必要なきに安心して受診できるように、国の子ども医療費助成制度の創設を、首長会を通じて引き続き要望していく。②平成27年度から18歳未満の児童を3人以上養育している世帯を対象に第3子以降の保育料を無料化し、平成28年度からは第2子以降の保育料の無料化を実施している。これらの事業は、国や県の制度に基づき一定の所得制限を設けており、市としては引き続き国や県が進める子ども・子育て支援政策に呼応した形で幼児教育の段階的無償化に取り組んでいる。

浦辺教育部長

③人口減少対策や子育て支援策として学校給食の支援や補助の制度は、今のところ考えていない。なお、経済的な理由で学校給食費の支払いが困難な児童生徒の保護者に対しては、生活保護費や就学援助費のなかで給食費は負担している。

- 【その他の質問項目】
- 国保
- 学校施設整備
- 障害者雇用
- 介護支援
- 空き家対策



議員 和典 議員 (無会派)



子育て支援課の窓口

一般質問

豪雨災害に対する対策について
防災意識を高めて迅速な対応を！



議員 木下 敬夫 (礎)



豪雨により氾濫寸前の熊木川

木下議員

6月30日から7月4日の集中豪雨と8月25日の集中豪雨によって、川の氾濫、ため池の決壊などのおそれがあるなか、迅速で適切な対応をしていた。その折、土砂災害警戒情報が発令して、避難準備警報を出して避難の呼びかけをしたが、市民の対応状況はどうだったか。また、避難指示に従う避難者の確立をあげるには、どのようなことが必要か。

福島市民生活部長

7月1日に土砂災害警戒情報の発表や熊木川、二宮川、崎山川流域で氾濫危険水位に到達および万町の材木池の決壊のおそれがあることから、全体で8,018世帯の20,678人に対し、避難準備・高齢者等避難開始および避難勧告を発令し、13カ所の避難所を開設した内の5カ所で45人が避難した。7月4日は、熊木川流域における氾濫危険水位の到達により、1,522世帯の3,222人に対し、避難準備・高齢者等避難開始および避難勧告を発令し、3カ所の避難所を開設した内の2カ所で187人が避難した。まだまだ避難することに対して、市民の防災意識が低いいため、引き続き周知し、地域づくり協議会などと連携して防災意識を高めていきたい。自分の命は自分で守ることが大事で、避難勧告等が出たら避難所へ速やかに避難することを繰り返し周知していく。

- 【その他の質問項目】
- B&G海洋センターの利用促進
- 七尾市の人口推移

政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されています

<p>みんなで徹底しよう 三ない運動</p> <p>贈らない!</p> <p>求めない! 受け取らない!</p> <p>これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。</p>	<p>秘書等が代理で出席する場合の結婚祝</p>	<p>地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入</p>	<p>お祭りへの寄附・差入</p>	<p>町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入</p>	<p>落成式・開店祝等の花輪</p>
	<p>病気見舞</p>	<p>お歳暮・お年賀</p>	<p>入学祝・卒業祝</p>	<p>葬儀の花輪・供花</p>	<p>秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典</p>

総務省 なるほど! 選挙「寄附の禁止」

総務省 寄附の禁止

検索

(公財) 明るい選挙推進協会

明るい選挙推進協会 三ない運動

検索